

インストール マニュアル

StruxureWare Data Center Expert

AP9465
AP9470
AP9475



This manual is available in English on the enclosed CD.

Dieses Handbuch ist in Deutsch auf der beiliegenden CD-ROM verfügbar.

Este manual está disponible en español en el CD-ROM adjunto.

Ce manuel est disponible en français sur le CD-ROM ci-inclus.

Questo manuale è disponibile in italiano nel CD-ROM allegato.

本マニュアルの英語版は同梱の CD-ROM からご覧になれます。

O manual em Português está disponível no CD-ROM em anexo.

Данное руководство на русском языке имеется на прилагаемом компакт-диске.

您可以从包含的 CD 上获得本手册的中文版本。

동봉된 CD안에 한국어 매뉴얼이 있습니다.

目次

製品の説明	1
概要	1
パッケージの内容	1
受け取り時の確認	1
リサイクルのお願い	1
免責条項	1
安全性	2
ラックマウントの安全性について	2
バッテリー内蔵機器	2
取り付け	3
取り付け手順	3
はじめる前に	3
RapidRails ラック キットの内容	4
取り付け作業	4
ラックの扉の取り外し	4
ラック内の場所の選択	4
RapidRails スライド アセンブリの取り付け	5
ラックへのシステムの取り付け	6
ラックの扉の取り付け	7
通信用接続	7
ネットワーク概要	7
プライベート LAN の設定	7
ネットワーク ケーブルを StruxureWare Data Center Expert サーバーとスイッチ (またはハブ) に配線する	8
StruxureWare Data Center Expert サーバーをパブリック LAN に接続する	9
StruxureWare Data Center Expert サーバーをプライベート LAN に接続する	9
StruxureWare Data Center Expert サーバーと スイッチ (またはハブ) に電源を供給する	9

初期設定 10

StruxureWare Data Center Expert サーバーの設定 10

システムおよび Web ブラウザの必要条件 10

リモート コンピュータからの StruxureWare Data Center Expert
サーバーの設定 10

リモート モニタリングの有効化 12

製品情報 13

StruxureWare Data Center Expert 前面パネル 13

Basic および Standard モデル (前面) 13

Enterprise モデル (前面) 14

StruxureWare Data Center Expert 背面パネル 15

Basic および Standard モデル (背面) 15

Enterprise モデル (背面) 16

仕様. 17

StruxureWare Data Center Expert サーバー 17

保証およびポリシー 18

2 年間の工場出荷時保証. 18

保証の条件 18

譲渡不能な保証 18

保証除外事項 18

保証の請求 19

製品の説明

概要

パッケージの内容

- APC™ **StruxureWare Data Center Expert** サーバー— 1U または 2U サイズの管理デバイス 1 台。StruxureWare Data Center Expert サーバーは APC デバイス、NetBotz Appliance、およびその他のサードパーティ SNMP デバイスと連携して、IT 環境や IT 機器に適した包括的な監視ソリューションを提供します。

StruxureWare Data Center Expert サーバーには、Basic、Standard、および Enterprise の 3 つのモデルがあります。

- **ラックマウント レール:** 標準の 19 インチ (482 mm) ラックに StruxureWare Data Center Expert サーバーを取り付けるために使う RapidRails™。
- **電源コード:** NEMA 5-15P - IEC-320-C13 用および IEC-320-C13 - IEC-320-C14 用電源コード。注意: 本製品に同梱されている電源コードは、本製品専用ケーブルです。他の用途ではご使用にならないでください。配電に合ったコードを使用してください。

注意: Enterprise モデルの StruxureWare Data Center Expert サーバーには、各ケーブルが 2 本付属しています。

- 『StruxureWare Data Center Expert インストール マニュアル』(本書)

受け取り時の確認

パッケージの内容物を確認して、すべてのパーツが揃っているかどうか、または製品が破損していないかどうかを確認してください。製品が破損している場合は、すぐに運送会社に連絡してください。また、内容物が足りない、内容物の破損、その他何らかの問題がある場合は、すぐに APC または販売店に連絡してください。

リサイクルのお願い



梱包材はリサイクルが可能です。梱包材の再利用または処分については地域の条例や法律に従ってください。

免責条項

販売店からの製品の再輸送時に発生した損傷に関しては、APC は保証しません。

安全性

ラックマウントの安全性について

StruxureWare Data Center Expert サーバーにはラックマウント レールが同梱されています。使用するラックの正しい位置にレールを取り付け、装置を収納してください。装置をオープンラックの代わりにケースに収納する場合は、ケース内の最高周囲温度を 35° C (95° F) 以下にする必要があります。

- 機器をラックに設置する際は、機器の安全な作動に必要な空気の流れに支障が出ないことを確認してください。
- 機器をラックに収納する際は、不均等な機械的負荷が原因で危険な状態が生じることがないことを確認してください。
- 機器を供給電気回路に接続する際は、回路を過負荷状態にしないでください。過負荷回路防止装置を損なったり、供給電源配線を損傷する可能性があります。目安については、機器のネームプレートに記載の定格値を参照してください。
- 本装置の、特に分岐回路に直接つながれていない給電接続 (分岐回路に直接接続されていない配電ユニット (PDU) を使用している場合など) は、確実な方法で接地を行ってください。

バッテリー内蔵機器

本機器は、交換不能のリチウム コイン セル電池を内蔵しています。

取り付け

取り付け手順

このガイドでは、トレーニングを受けたサービス技術者を対象に、1台以上のシステムをラックに取り付ける手順について説明します。付属の RapidRails ラック キットは、工具を使用せずに、角穴のある筐体に取り付けることができます。ラックに取り付けるシステムごとに1つのラック キットが必要です。丸穴のある筐体用に設計された VersaRails™ ラック キットも別途購入できます。



注意: 別のシステム用に設計されたラック キット コンポーネントを取り付けしないでください。ご使用のシステムに適したラック キットだけを使用してください。別のシステム用のラック キットを使用すると、けがをしたりシステムが故障したりする場合があります。

はじめる前に

システムをラックに取り付ける前に、2 ページおよびこの項の安全性に関する説明をお読みください。

システムをラックに取り付ける際は、次の安全上の注意事項をお守りください。



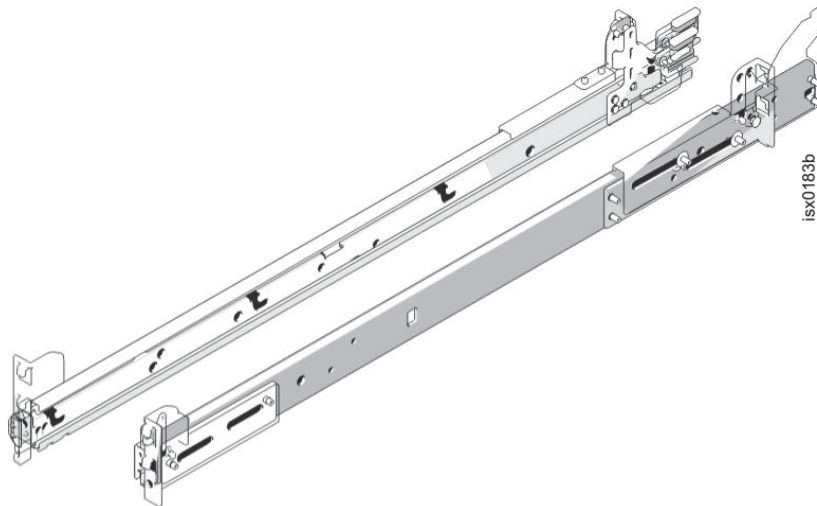
注意:

- 複数のシステムをラックに取り付ける場合は、現在のシステムの手順をすべて完了してから次のシステムを取り付けます。
- 自分自身と他のサービス技術者を守るため、本書の手順に従ってください。システムは大きく重いため、特にシステムをラックの上の方に取り付ける場合は、けがをしないように適切な準備と計画を行うことが重要です。
- 前面および側面のベースを使用せずにシステムをラックに取り付けると、ラックが転倒し、けがをする恐れがあります。コンポーネントを取り付ける前に、必ずラックのベースを取り付けてください。ベースを取り付けると、スライドアセンブリを完全に引き出してシステムまたはその他のコンポーネントをラックから引き出す際に、ラックが転倒するのを防ぐことができます。ベースの取り付け方法および固定方法については、ラック キャビネットのマニュアルを参照してください。
- システムをラックに取り付いたら、スライドアセンブリを使用して一度に2台以上のシステムをラックから引き出さないでください。引き出したシステムの重みでラックが転倒し、けがをする恐れがあります。

RapidRails ラック キットの内容

RapidRails ラック キットには、次の品目が同梱されています。

- 1 対の RapidRails スライドアセンブリ

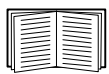


取り付け作業

ラック キットを取り付けるには、次の手順に従います。

1. ラックの扉を取り外します。
2. ラック内の場所を選択します。
3. RapidRails スライドアセンブリを取り付けます。
4. システムをラックに取り付けます。
5. ラックの扉を取り付けます。

ラックの扉の取り外し



扉の取り外し手順については、ラック キャビネットのマニュアルを参照してください。



注意:

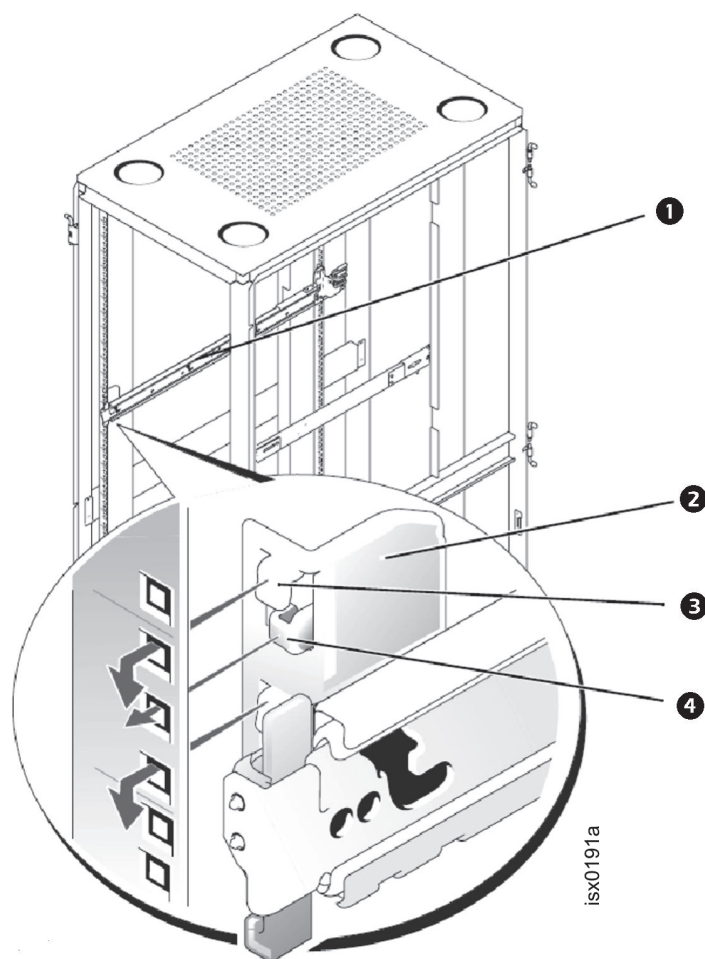
- ラック キャビネットの扉は大きく重いため、1 人では取り外さないでください。
- 扉が誤って倒れてしまった場合にけがをする恐れのない場所に扉を保管してください。

ラック内の場所の選択

StruxureWare Data Center Expert Standard Edition または Basic Edition システムを取り付ける場合、システムごとにラック内に 1 U (44 mm [1.7 インチ]) 分の空きスペースが必要です。
StruxureWare Data Center Expert Enterprise Edition システムを取り付ける場合、システムごとにラック内に 2 U (88 mm [3.5 インチ]) 分の空きスペースが必要です。

RapidRails スライドアセンブリの取り付け

1. ラック キャビネットの前面で、RapidRails スライドアセンブリの1つを、その取り付けブラケットフランジがラック内の1つのUスペースに収まるように配置します。スライドアセンブリの前面取り付けブラケットフランジの一番上にある取り付けフックを、Uスペースの1番上の穴に挿入する必要があります。
2. スライドアセンブリを前面側に押して、一番上の取り付けフックをUスペースの一番上の角穴に挿入します。次に、取り付けブラケットフランジを下側に押して、取り付けフックを角穴にはめ込みます。フックがはまると、プッシュボタンが飛び出してカチッという音がします。次の図を参照してください。



- ① スライドアセンブリ (2)
- ② 取り付けブラケットフランジ
- ③ 取り付けフック (2)
- ④ プッシュボタン

3. 筐体の背面で、取り付けブラケットフランジを背面側に引いて、一番上の取り付けフックを選択したUスペースの一番上の角穴に挿入します。次に、フランジを下側に押して、取り付けフックを角穴にはめ込みます。フックがはまると、プッシュボタンが飛び出してカチッという音がします。
4. 手順1～3を繰り返して、ラックのもう一方の側面にスライドアセンブリを取り付けます。



注意: スライドアセンブリが、ラックの各側面の垂直レール上で同じ位置に取り付けられていることを確認してください。

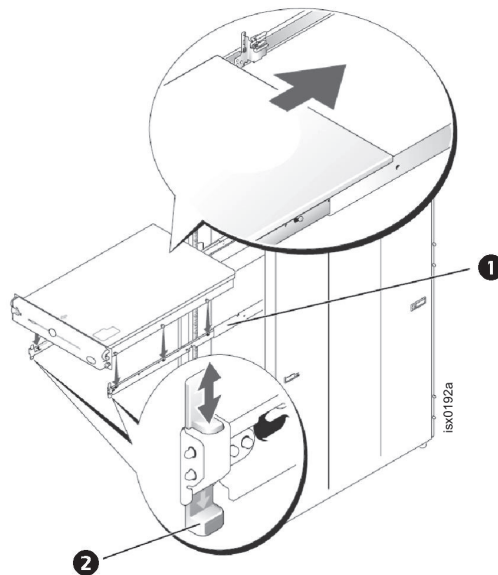
ラックへのシステムの取り付け



注意:

- 複数のシステムを取り付ける場合は、最初のシステムをラックの一番下に取り付けます。
- 一度に2台以上のコンポーネントをラックから引き出さないでください。
- システムは大きく重いため、1人ではスライドアセンブリにシステムを取り付けられないでください。

1. 2つのスライドアセンブリを、ロックされるまでラックから完全に引き出します。引き出したスライドの前面にシステムを乗せます(次の図を参照)。



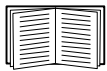
- ① システムの肩付きネジ
- ② システム ロック機構

2. 片手でシステムの前面の下を持ち、もう一方の手でシステムの背面の下を持ちます。
3. システムの背面を下に傾け、システムの両側面にある背面側の肩付きネジをスライドアセンブリの背面側のネジ穴に合わせます。
4. 背面側の肩付きネジをネジ穴にはめ込みます。
5. システムの前面を下げ、前面側と中央の肩付きネジをネジ穴にはめ込みます(中央のネジ穴は黄色のシステムリリースラッチのすぐ後ろにあります)。すべての肩付きネジを正しくはめ込むと、カチッという音がして、各スライドアセンブリの前面にあるシステムロック機構によってシステムがスライドアセンブリにロックされます。
6. 各スライドの側面にあるスライドリリースラッチを押し上げて、システムを完全にラックにスライドさせます。
7. 前面シャーシパネルの各側面にある蝶ネジを押し込んで締め、システムをラックに固定します。



注: システムをスライドアセンブリから取り外すには、システムロック機構のボタンを押してシステムを前面側に引き出します。

ラックの扉の取り付け



扉の取り付け手順については、ラックのマニュアルを参照してください。

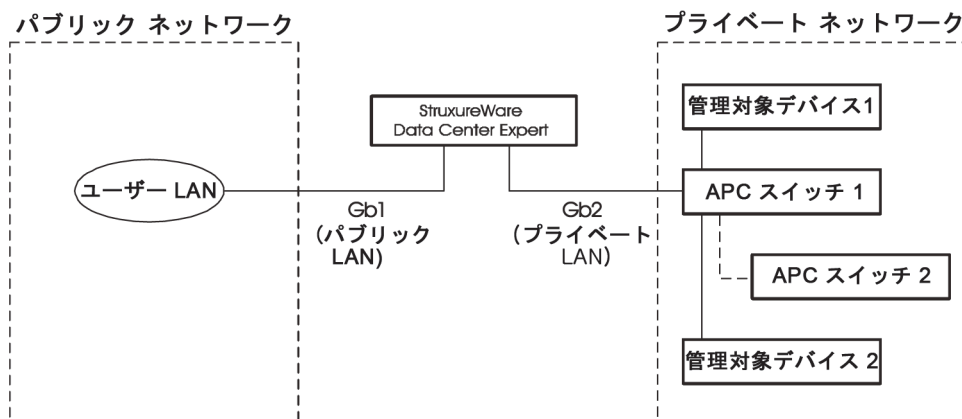


注意: ラック キャビネットの扉は大きく重いため、1人で取り外したり取り付けたりしないでください。

通信用接続

ネットワーク概要

StruxureWare Data Center Expert サーバーには、ネットワークに接続された APC デバイスや、NetBotz Appliance、およびその他サードパーティ製の SNMP デバイスを管理する機能が用意されています。既存のネットワーク (パブリック LAN) およびプライベート ネットワーク (プライベート LAN) の両方に接続して、接続されたデバイスを管理します。



プライベート LAN の設定

CAT-5 ネットワーク ケーブルを各 SNMP デバイスのネットワーク ポートに接続します。

StruxureWare Data Center Expert サーバーは、ネットワーク ポートを備えた APC デバイスおよびサードパーティの SNMP デバイスを管理できます。

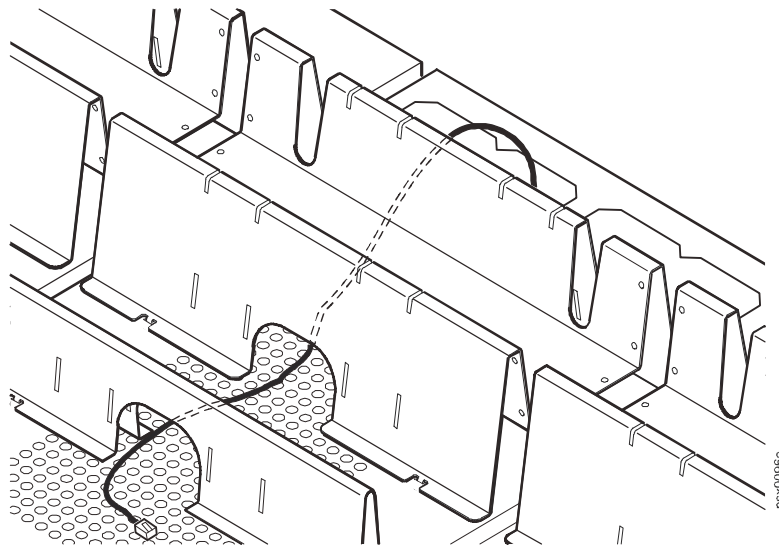


注意: InfraStruxure システムの UPS で PowerChute® Network Shutdown ソフトウェアを実行する場合は、その UPS をパブリック ネットワークに接続する必要があります。

ネットワーク ケーブルを StruxureWare Data Center Expert サーバーとスイッチ (またはハブ) に配線する

天井引き込み この項は、InfraStruxure システムの取り付け用です。

1. APC シールドパーティションとケーブルラダーが NetShelter ケースと InfraStruxure PDU に取り付けられていることを確認します。
2. 各 APC デバイスからスイッチ (またはハブ) まで、CAT-5 ネットワーク ケーブル (付属) を配線します。
 - a. 最も長い CAT-5 ネットワーク ケーブルを使用するスイッチ (またはハブ) から一番遠くにあるデバイスから作業を始めます。
 - b. ケーブルを束ねて、連結したラックに沿ってデータ ケーブルトラフの中を配線します。必要があれば、ラダーも通してください。



3. 各 APC デバイスのネットワーク ケーブルをスイッチ (またはハブ) の空いているポートのいずれかに接続します。

データ ケーブルの取り付けと配線 (代替的な配線)



注意: 可能な場合は、このページの「天井引き込み」で説明しているように、データ ケーブルは天井引き込みにしてください。InfraStruxure システムで APC シールドパーティションとケーブルラダーを使用すると、データ転送での誘導ノイズに関連する問題が軽減されます。

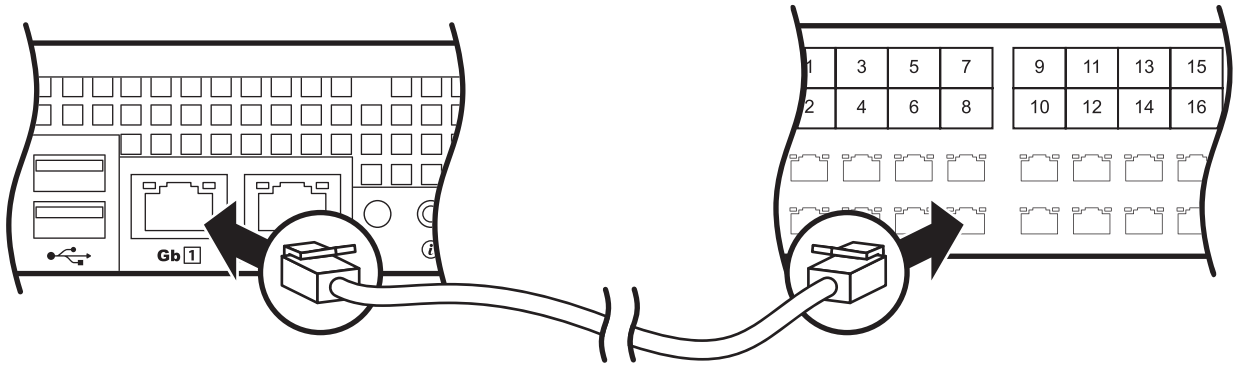
データ ケーブルをフリー アクセス床の下に配線しなければならない場合:

- データ ケーブルを InfraStruxure PDU 内部から床へ配線するときに、電源ケーブル コンジットまたはその他の場所を通さないでください。電源ケーブルの誘導ノイズがデータ転送に干渉する恐れがあります。データ ケーブルを InfraStruxure PDU の屋根部分から出して、最初の NetShelter ケース内部を通して床まで配線します。
- また、データ ケーブルが電源ケーブルのすぐ近くにあると、誘導ノイズの影響を受ける場合があります。据え付け完了後、データ転送が正常に実行されている場合でも、データセンターの他の機器のためにフリー アクセスフロアの床下に電源ケーブルを追加すると、StruxureWare Data Center Expert システムのデータ転送の安全性が失われる可能性があります。

StruxureWare Data Center Expert サーバーをパブリック LAN に接続する

StruxureWare Data Center Expert システムの取り付けでは、必要に応じてネットワーク ジャンパ ケーブルまたは標準のネットワーク ケーブルを使用して、StruxureWare Data Center Expert サーバーの **Gb1** ポート (次の図は Standard バージョンの例) をパブリック LAN のネットワーク ポートに接続します。

パブリック LAN 接続:



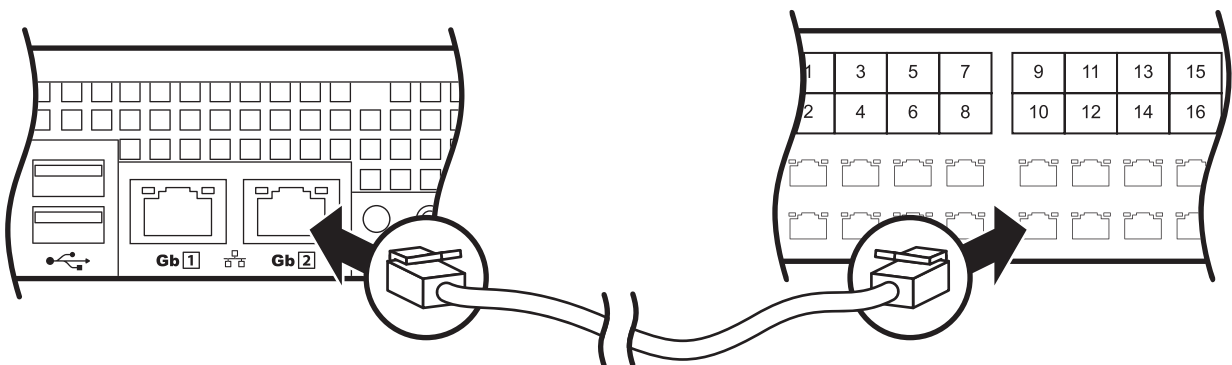
StruxureWare Data Center Expert サーバーをプライベート LAN に接続する

1. プライベート LAN のポートを StruxureWare Data Center Expert サーバーの **Gb2** ポート (次の図は Standard バージョンの例) に接続します。



注: **Gb2** ポートのラベルに示されているように、プライベート LAN 以外のネットワークをそのポートまたはそのポートに接続するスイッチに接続しないでください。

プライベート LAN 接続:



2. プライベート LAN (**Gb2** ポート) にアクセスするには、10 ページの「初期設定」を参照してください。

StruxureWare Data Center Expert サーバーと スイッチ (またはハブ) に電源を供給する

StruxureWare Data Center Expert サーバーと スイッチ (またはハブ) を取り付け、通信用接続をすべて行った後に、ケース内の ラック マウント PDU に電源コードを接続して、StruxureWare Data Center Expert サーバーに電源を供給します。

初期設定

StruxureWare Data Center Expert サーバーの設定

StruxureWare Data Center Expert サーバーのパブリック LAN ネットワークの設定を初めて行う場合は、次のいずれかの方法で StruxureWare Data Center Expert サーバーに接続する必要があります。

- **Gb2** ポートに直接接続しているコンピュータまたは **Gb2** ポートに接続されたスイッチ (またはハブ) に接続しているコンピュータを使用して、プライベート ネットワーク ポート (Gb2 ポート) に接続します。

システムおよび Web ブラウザの必要条件

StruxureWare Data Center Expert コンソールは、次の要件を満たすシステムで実行されるスタンドアロンの Java アプリケーションです。

- 1 GHz 以上の AMD または Intel プロセッサを搭載し、Microsoft® Windows® (XP SP1、SP2、SP3、Server® 2003 SP2、Vista、7) または Red Hat® Enterprise Linux® 5.0 (32 ビットプラットフォームのみ) が動作している PC
- 1 GB RAM
- 1024x768 以上の画面解像度
- JavaScript® が有効になっているブラウザ
 - Google Chrome™ version 23.0
 - Microsoft Internet Explorer® バージョン 8、9、10
 - Mozilla Firefox® バージョン 17.0

リモート コンピュータからの StruxureWare Data Center Expert サーバーの設定

1. コンピュータをプライベート スイッチ (またはハブ) のネットワーク ポートに接続するか、**Gb2** ポート (スイッチ (またはハブ) が使用できない場合) にコンピュータを直接接続します。このコンピュータは、次の要件を満たしている必要があります。
 - DHCP を使用して IP アドレスを自動的に取得するように設定されている。
 - ネットワーク プロトコルとして TCP/IP を使用している。
2. コンピュータの IP アドレスをリリースして更新し、プライベート LAN のアドレスに割り当てます。
3. ブラウザを開き、StruxureWare Data Center Expert サーバーの LAN IP アドレスを入力します。
4. LAN 上の StruxureWare Data Center Expert のデフォルトの IP アドレスとして 192.168.1.1 を使用します。
5. ユーザー名とパスワードの両方に「**apc** (小文字)」を使用して、StruxureWare Data Center Expert Web クライアントにログインします。右上隅の [**Download Client (クライアントのダウンロード)**] をクリックし、StruxureWare Data Center Expert クライアントをダウンロードしてインストールします。

6. **StruxureWare Data Center Expert** アイコンをダブルクリックして **[StruxureWare Data Center Expert ログオン]** ダイアログを表示し、ユーザー名とパスワードの両方に「**apc** (小文字)」を使用してログインします。
7. **[システム]** メニューの **[サーバー管理の設定]** で、**[ネットワークの設定]** を選択します。
8. **[ネットワークの設定]** 画面の **[パブリック]** タブで、StruxureWare Data Center Expert サーバーに関する必要な情報を入力します。この情報は、ネットワーク管理者に確認できます。
9. 終了したら、**[適用]** をクリックして **[OK]** をクリックします。

リモート モニタリングの有効化

APC は StruxureWare Data Center Expert サーバーとそれが管理するデバイスをリモートで監視して、電子メール、ポケットベル、電話を利用してイベントを通知できます。APC の Remote Monitoring Service (RMS) を使用する場合は、次の手順に従います。



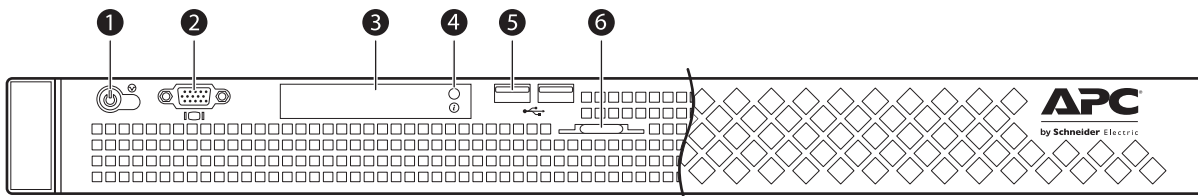
警告: APC の Remote Monitoring Service に送信する情報は、英語で入力する必要があります。その他の言語で入力すると、RMS は重要な問題を正しく通知したり説明したりできなくなります。

1. [アラーム設定] メニューで、[Remote Monitoring Service] を選択します。
2. [APC Remote Monitoring Service] 画面で、[登録設定] をクリックします。
3. RMS に登録していない場合:
 - a. [RMS 設定タイプの選択] 画面で、[新規のお客様] をクリックし、[次へ] をクリックします。
 - b. [RMS 連絡先情報] 画面で、すべての必須フィールドに入力し、[次へ] をクリックします。
 - c. [RMS 会社情報] 画面で、すべての必須フィールドに入力し、[完了] をクリックします。
4. RMS に既に登録している場合:
 - a. [RMS 設定タイプの選択] 画面で、[登録済みのお客様] を選択し、[次へ] をクリックします。
 - b. [RMS ログイン設定] 画面で、電子メールアドレスとパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。
 - c. [RMS 連絡先情報] 画面で、表示されている情報が正しいことを確認し、[次へ] をクリックします。
 - d. [RMS 会社情報] 画面で、情報が正しいことを確認し、[完了] をクリックします。
5. <http://rms.apc.com> を閲覧して、RMS 設定を完了します。RMS ページで、[Contact Us] をクリックして電話番号を確認し、有効化処理を完了します。

製品情報

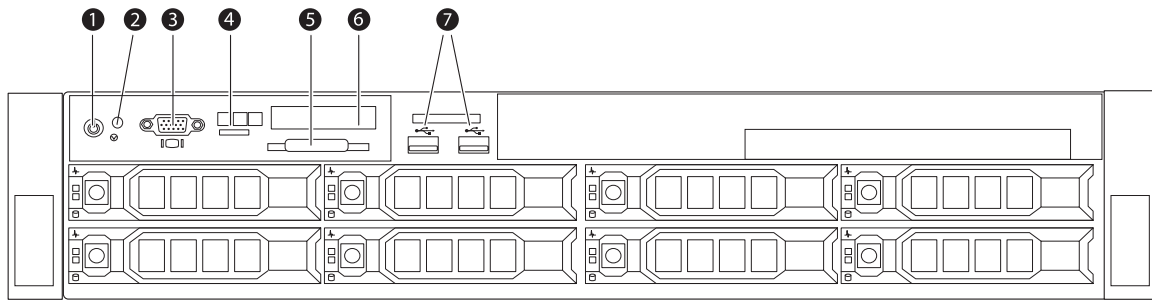
StruxureWare Data Center Expert 前面パネル

Basic および Standard モデル (前面)



項目	機能
① 電源オン ライト、電源ボタン	システムに電源が入ると電源オン ライトが点灯します。システムの電源はオフになっているが電源が利用できる場合は、電源オン ライトが点滅します。電源ボタンは、システムの電源を入れたり切ったりする場合に使用します。
② ビデオ/VGA ポート	VGA モニタ用ポート
③ 診断インジケータ	システムの前面パネルには 4 つの診断インジケータがあり、システムの起動中にエラー コードが表示されます。
④ システム識別ボタン 青色と黄色のシステムステータスインジケータ LED	前面パネルと背面パネルの識別ボタンを使用して、ラック内の特定のシステムの位置を確認できます。これらのボタンの 1 つを押すと、再度いずれかのボタンを押すまで前面と背面の青色のシステムステータスインジケータが点滅します。 LED は次のように消灯、点灯、または点滅してシステムステータスを示します。 • 青色消灯、黄色消灯: システムの電源がオフになっています。 • 青色消灯、黄色点滅: システムでエラーが検出されました。 • 青色点灯、黄色消灯: 電源がオンで、システムは動作中です。 • 青色点滅、黄色消灯: システム識別インジケータが動作中で、ラック内のシステムを識別しています。
⑤ USB ポート (2)	USB 2.0 に対応したデバイスをシステムに接続する場合に使用します。
⑥ システム ID パネル	システム情報のスライドアウト パネル

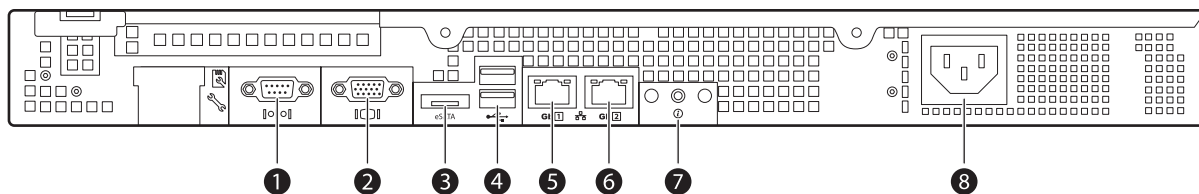
Enterprise モデル (前面)



項目	機能
① 電源オンライト、電源ボタン	システムに電源が入ると電源オンライトが点灯します。システムの電源はオフになっているが電源が利用できる場合は、電源オンライトが点滅します。電源ボタンは、システムの電源を入れたり切ったりする場合に使用します。
② システム識別ボタン	前面パネルと背面パネルの識別ボタンを使用して、ラック内の特定のシステムの位置を確認できます。これらのボタンの1つを押すと、再度いずれかのボタンを押すまで前面のLCDパネルと背面のシステムステータスインジケータが点滅します。
③ ビデオ/VGAポート	VGA モニタ用ポート
④ LCD メニュー ボタン	コントロールパネルのLCDメニュー内を移動する際に使用します。
⑤ システム ID パネル	システム情報のスライドアウト パネル
⑥ LCD パネル (Enterprise のみ)	システム ID、ステータス情報、およびシステム エラーメッセージが表示されます。システムが正常に動作している間、LCD ディスプレイは青色で点灯します。電源装置、ファン、システム温度、またはハードドライブに問題が発生したため注意が必要な場合は、LCD ディスプレイは黄色で点灯します。 注意: システムが AC 電源に接続されている状態でエラーが検出された場合は、システムの電源がオフでも LCD ディスプレイは黄色で点滅します。
⑦ USB ポート (2)	USB 2.0 に対応したデバイスをシステムに接続する場合に使用します。

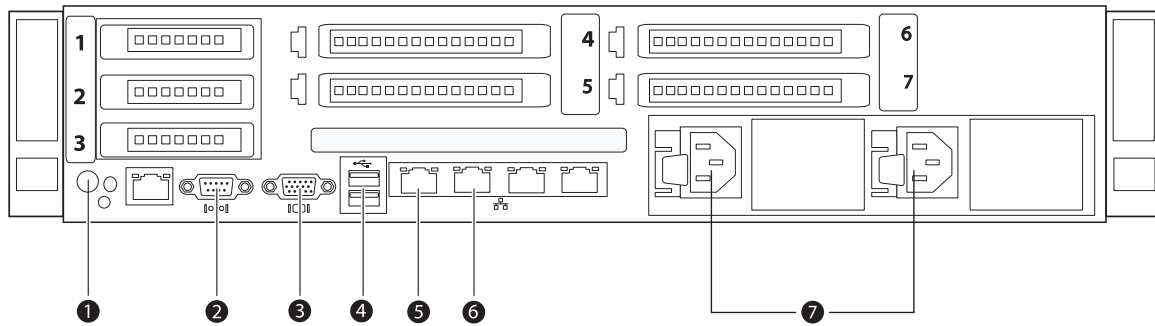
StruxureWare Data Center Expert 背面パネル

Basic および Standard モデル (背面)



項目	機能
① シリアル	9 ピン
② ビデオ/VGA ポート	VGA モニタ用ポート
③ eSATA	無効
④ USB ポート (2)	USB 2.0 に対応したデバイスをシステムに接続する場合に使用 します。
⑤ Gb1	パブリック LAN に接続するための Gigabit Ethernet ポート。
⑥ Gb2	プライベート LAN に接続するための Gigabit Ethernet ポート。
⑦ システム ス テータス LED およびボタン	前面パネルと背面パネルの識別ボタンを使用して、ラック内の 特定のシステムの位置を確認できます。これらのボタンの 1 つ を押すと、再度いずれかのボタンを押すまで前面と背面の青色 のシステム ステータス インジケータが点滅します。
⑧ 電源ソケット	電源コードのコンセント

Enterprise モデル (背面)



項目	機能
① システム識別ボタン 青色と黄色のシステムステータスインジケータ LED	前面パネルと背面パネルの識別ボタンを使用して、ラック内の特定のシステムの位置を確認できます。これらのボタンの1つを押すと、再度いずれかのボタンを押すまで前面の LCD パネルと背面のシステムステータスインジケータが点滅します。 LED は次のように消灯、点灯、または点滅してシステムステータスを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 青色消灯、黄色消灯: システムの電源がオフになっています。 • 青色消灯、黄色点滅: システムでエラーが検出されました。 • 青色点灯、黄色消灯: 電源がオンで、システムは動作中です。 • 青色点滅、黄色消灯: システム識別インジケータが動作中で、ラック内のシステムを識別しています。
② シリアルポート	9ピン
③ モニタ	外部モニタ用ポート
④ USBポート (2)	USB 2.0 に対応したデバイスをシステムに接続する場合に使用します。
⑤ Gb1	パブリック LAN に接続するための Gigabit Ethernet ポート。
⑥ Gb2	プライベート LAN に接続するための Gigabit Ethernet ポート。
⑦ 電源ソケット	電源コードのコンセント

仕様

StruxureWare Data Center Expert サーバー

電氣的仕様

入力	100-240 VAC; 50/60 Hz; 0.7 A ~ 0.5 A
----	--------------------------------------

物理的仕様

寸法 (H × W × D)

ユニット	Basic: 4.5 x 48.3 x 54.6 cm (1.7 x 19 x 21.5 インチ) Standard: 4.5 x 48.3 x 54.6 cm (1.7 x 19 x 21.5 インチ) Enterprise: 8.7 x 48.3 x 68.4 cm (3.5 x 19 x 27 インチ)
------	---

梱包寸法

Basic: 30.5 x 63.5 x 88.9 cm (12 x 25 x 35 インチ) Standard: 30.5 x 63.5 x 88.9 cm (12 x 25 x 35 インチ) Enterprise: 38.1 x 63.5 x 91.4 cm (15 x 25 x 36 インチ)

質量

ユニット	Basic: 11.8 kg (26 ポンド) Standard: 20.4 kg (45 ポンド) Enterprise: 29.5 kg (65 ポンド)
------	---

積荷重量

Basic: 13.2 kg (29 ポンド) Standard: 21.7 kg (48 ポンド) Enterprise: 30.9 kg (68 ポンド)

環境仕様

温度

動作時	10 ~ 35° C (50 ~ 95° F)
保管時	-15 ~ 50° C (5 ~ 122° F)

高度

動作時	高度 3000 m 以下
-----	--------------

湿度(H)

動作時	20 ~ 80% 相対湿度、結露のないこと
保管時	5 ~ 95% 相対湿度、結露のないこと

適合規格

認定	UL、CE、FCC、CSA、ICES-003、IRAM、NOM、CE CISPR 22、TUV-GS、SAB、GOST、NEMKO、SPRING、VCCI、MIC、BSMI、C-Tick、CCC
----	---

保証およびポリシー

2年間の工場出荷時保証

本保証は、購入した製品をこのマニュアルに従って使用した場合にのみ適用されます。

保証の条件

APCは、お客様の購入日から2年間、APC製品の原材料や作業工程に欠陥がないことを保証します。APCは、本保証の対象になる欠陥製品を修理または交換します。その他の損害、たとえば事故、過失、操作誤り、または製品の改竄などによる損傷に対しては、この保証はまったく適用されません。欠陥製品やその部品を修理または交換しても、元の保証期間は延長されません。本保証に基づいて提供される部品は、新品または工場再生品です。

譲渡不能な保証

本保証は、製品を正しく登録しているご購入者にのみ適用されます。製品の登録は、APCのWebサイト (www.apc.com)で行うことができます。

保証除外事項

APCは、申し立てられた製品の欠陥がAPCのテストまたは調査の結果存在しないと判明した場合、またはエンドユーザーや第三者の誤用、過失、不適切な取り付け、またはテストに起因するものであることが判明した場合、本保証に基づく責任を負いません。さらに、不正または不適切な電圧や接続を無許可で修理または変更した場合、不適切なオンサイト動作状況、腐食性大気、修理、取り付け、風雨、不可抗力、火災、盗難、APCの推奨事項や指定に反した取り付け、APCシリアル番号の改竄/汚損/除去、使用目的の範囲を超えるその他の原因については、本保証に基づく責任を負いません。

この契約に基づき、またはここに記載された内容に関連して購入し、サービスを受け、設置した製品に対し、法律の運用その他により明示的または黙示的に適用される保証事項はありません。APCは、製品の市場性、満足度、特定の目的に対する適合性に関するすべての黙示的な保証について責任を負いません。本製品に関してAPCが提供する技術面またはその他のアドバイスやサービスによってAPCの明示的な保証が拡大、縮小、または影響を受けることはなく、またこれらのアドバイスやサービスからは義務も責任も生じないものとします。上記の保証および賠償は排他的であり、その他のすべての保証や賠償に代わるものです。上記の保証が当該保証の不履行に対するAPCの唯一の責任であり、購入者の唯一の法的救済です。APCの保証は購入者にのみ適用され、第三者に適用されることはありません。

いかなる場合も、製品の使用、サービス、または設置から生じたいかなる間接的、特殊、結果的、懲罰的損害についても、契約の記述または不法行為のあるなしを問わず、過失または厳格責任に関係なく、APCが事前にそのような損害の可能性について報告を受けていたかどうかに関わらず、APC、その役員、重役、支社、社員はその責任を負わないものとします。APCは利益の損失、設備の損傷、設備の使用不能による損失、ソフトウェアの喪失、データ喪失、代替費用、第三者の主張など、いかなる損害に対しても責任がないことをここに明言します。

APCの販売担当者、社員、または販売代理店は本保証の条項を追加または変更する権限はありません。保証の条項は、たとえ変更される場合も、APCの役員と法務部の署名により書面によってのみ変更可能です。

保証の請求

保証を請求する場合は、APC の Web サイトのサポート ページ (www.apc.com/support) から APC カスタマ サポート ネットワークにアクセスしてください。該当の国のページが表示されない場合、Web ページの上にある [変更] ドロップダウン メニューから該当の国を選択します。[サポート] タブを選択すると、お住まいの地域のカスタマ サポートの連絡先を確認できます。

APC ワールドワイド カスタマ サポート

APC 製品のカスタマ サポートは次のように提供されています。

- APC の Web サイトにアクセスすると、APC Knowledge Base の資料を参照したり、カスタマ サポートへの要望を送信したりすることができます。
 - **www.apc.com** (本社)
特定の国の情報については、ローカライズされた APC Web サイトにアクセスしてください。それぞれのページにカスタマ サポート情報があります。
 - **www.apc.com/support/**
グローバルサポートには、APC Knowledge Base および e-support があります。
- APC カスタマ サポートセンターには電話または E-mail でお問い合わせいただくこともできます。
 - 地域、国別のセンタ : 連絡先の情報については **www.apc.com/support/contact** にアクセスしてください。

お住まいの地域のカスタマ サポートについては、APC 製品をご購入いただいた APC 営業担当者または販売店までお問い合わせください。

© 2013 APC by Schneider Electric. APC、APC ロゴ、NetShelter、PowerChute、および InfraStruxure は、Schneider Electric Industries S.A.S.、American Power Conversion Corporation、またはその関連会社が所有している商標類です。その他の商標はすべて所有者各位の所有物です。